

## 知って当たり前

# 介護ガイド帳



上原喜光

高齢者虐待の原因は、介護疲れによるストレスが8割に上ります。

男女比率に関して言えば、加害者の7割が男性。虐待は身体的（暴力、監禁など）と、心理的なもの（暴言、無視、拒否的な態度を取る）の2つがありますが、最近ではネグレクト（介護放棄）も虐待のひとつに数えられます。

ネグレクトでは、同居家族が食事を与えないため、やせ細って発見されたり、治療が必要なのに病院へ連れていかず、死亡させたというケースがあります。

くだらだら食べるな。ご飯はもう抜きだ。／

介護を始めたときは使命感も強いのですが、ストレスがたまると、気付かぬうちに虐待の加害者になっています。

そういったときには、「駆け込み寺」があります。各市町村に必ず1カ所以上ある「地域包括支援センター」です。同センターは、専門職員として社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーが配置されており、虐待の早期発見を担うほか、介護に関することであれば、施設入居や経済的

な事情まで何でも相談に乗ってくれます。

また、親の緊急時にすぐ駆けつけられない人は、近くの地域包括支援センターの電話番号は絶対にメモしておいてください。



ちなみに、昨年の虐待件数を公表した佐賀県は、虐待を受けた99人への対応として、家族から引き離れたケースが35件もありました。そうなる前に駆け込み寺をお勧めします。

（全国介護者支援協議会会長）

地域包括支援センターは虐待の駆け込み寺